

東横INN三河安城駅新幹線南口 I への

新型コロナウイルス感染症患者の受入にかかる地元説明会質疑応答

日 時：2020年4月28日（火）午後6時から午後7時40分

場 所：安城市立三河安城小学校体育館

参加者：28人

Q: 本日説明会の開催で、明日の開所という急な話であるが、私たちは町内の代表として、住民達にどのように説明・周知をすればよいのか。説明するのはかなり難しいと考えるが、県にフォローしてもらえないか。

A: 県として中途半端な状態で説明会を開催するわけにはいかないという考えがございました。説明会の開催が遅れましたことを、深くお詫び申し上げます。県の方で、この説明会の内容を後日ウェブに掲載するので、回覧等で周知していただければと存じます。また不明点があれば、愛知県健康対策課新型コロナウイルス感染症対策室までお問い合わせください。

Q: 近隣の商店等で、売上げが減少する等の被害があったら県はどうするのか。

A: ウイルス対策については、汚染エリアと清潔エリアとの区分けを厳重に行い、動線の整備など万全を期していますし、風評被害も起こさせないように対策をします。また、県で既に開始している休業支援金の制度等を御活用されることもお考えください。

Q: エアロゾル感染の可能性はないのか。

A: ホテルは一人一室で、他の人と直接接する機会がほとんどないため、可能性はほとんどありません。考えられる唯一の感染の機会があるとすれば、人と接する検体採取所ですが、こちらでも空気対策をしているため、本施設でエアロゾル感染の懸念はないと考えます。

Q: 私たち代表者は住民達に全責任を負い、この説明会にも参加せざるを得ない。今日明日で開設しますという、このような開催の仕方はもう少し考えていただきたい。受入れはしょうがないと考えるが、やはり不安も大きい。「コロナを外に出しません、風評被害も出しません」と、県の方でこの場で言い切ってください。

A: 例えば外に出る感染症廃棄物についても、こちらできちんと保管して、心配のないように対応させていただきます。また先ほどの説明のとおり、感染エリアと清潔エリアをきちんと区分けし、入口は施錠いたします。入口には常時職員も配置しますので、ご安心ください。

Q: 出たときの心配とかの問題ではなく、まず県の方が「絶対に外に出しません」と参加者を安心させるために言い切ってください。自分の保身のためではなく、言い切ってください。

A: 施設運営については、入所者が外を出歩くことはありませんので、ご安心ください。

Q: 先ほどの説明にあったと思うが、東横 INN の中でも建物が二棟並ぶ点で、同じ構造をしている中部国際空港の東横 INN は受入れをしないのか。

A: 中部国際空港の東横 INN は、海外から入国された方の検査待ちの施設として、国が運営しています。

Q：今は飛行機等ストップしているので、（中部国際空港の東横 INN は）空いているのではないか。

A：既に開所している東浦町の施設も近くにあり、三河地域の受入れ先として地理的な面でも受け入れ先を分けられると考えております。

Q：地理的な面と言うなら、例えば感染者数は4月26日時点で尾張は417名、三河は51名と約8倍も差がある。それなのに、三河地方で開所するとなれば町民から不安が出ると思うが、なぜなのか。

A：入所施設については地域性も考慮しながら開設しているため、御理解を頂きたいと思えます。

Q：外部との遮断のため、施錠をしているという話が出たが、災害時には必ず外に出られるようになっているはずだが、どう対応しているのか。

A：災害等の緊急時には、近隣の患者自家用車駐車場を緊急避難場所としており、患者様は四方八方に散り散りにならないようにしています。

Q：患者が勝手に非常扉等から、外に出ないか。

A：まず前提として、入所いただく方には勝手な行動は厳に慎むようお願いし、御了解をいただいた方のみ入所いただきます。また、警備に関しましても、施錠の上、24時間ホテル入口前に職員を配置しますので、勝手に入退場ができるものではありません。また、愛知県警本部にも当施設の周辺の警備を依頼したところ、安城警察署より、必要な警備を実施することについて御了解をいただいております、宿泊施設等へのトラブル防止にも対応しております。

Q：健康プラザで例があったように非常用のところを壊して、外に出ることも物理的には可能だが、どう対策しているのか。

A：通常そのようなことにならないように、入所に同意いただける方のみに入所いただきます。また、健康プラザの件は、患者が勝手に出ていった訳ではなく、話をして退所いただき、病院療養にうつられたので御理解ください。

Q：汚染エリアと隣接する仕切りのない場所で、防護服の着脱をする医療関係者が感染するリスクはないのか。

A：場所的な問題というよりも、新型コロナウイルスは空気感染の恐れはないことから、汚染された防護服を脱いだ後に、いかに適切に処理するかが重要であると考えており、医療関係スタッフから感染者が出ないよう徹底した対策を行っております。